

事業計画書

■当初 □最終

作成年月日 2022年05月17日

法人名 株式会社 絆(きずな)inローズ
代表者職名前 代表取締役 佐藤 正弘
担当者名 連絡先

1 協議事項

事業種別 放課後等デイサービス
事業所名 つよみをのぼす「ぐんぐん」
開設(変更)予定日 2022年10月1日

協議の種類
計画の概要
■ 新規事業所の開設
□ 事業の追加
□ 定員の変更
□ 大幅な事業内容の変更
□ 事業所の移転
□ 建物の構造・設備の変更

2 事業実施に係る動機

別紙にて

3 提供サービス

種類 ① 放課後等デイサービス
理念 別紙にて
目標 別紙にて
同種のサービス

4 施設の概要【平面図は裏面のとおり】

土地 所在地 福山市住吉町7番28号
建物 名称 門田貸店舗
事業の概要 ① 種類 新規
② 種類
③ 種類
内容 放課後等デイサービス事業所を2022年10月1日に開所

5 主要取引先

上段:取引先
下段:所在地
割合
掛取引
回収・支払の条件
意見

6 従業員

職種 雇用形態 名前 年齢 月給 意見
管理者兼児童指導員
児童発達管理責任者
児童指導員
児童指導員
指導員

7 借入金の状況

金融機関 理由 借入残高 年間返済額 意見
政策金融公庫 開所費用・運転資金

8 必要な資金と調達方法

必要な資金 金額 調達方法 金額 意見
土地
建物
設備
車両
その他
運転資金

9 事業の見通し

利用者見込 A
月平均利用額 ※1
収入計 ①
支出計 ②
収入 B
売上高 ※3
必要経費
最賃確保状況(A型)

※1 月平均利用額(1人当たりの積算根拠)

基本報酬(サービス費)+全ての加算について記載すること

放課後等デイサービス・基本報酬(区分1)平日604 休日721・福祉専門職員配置等加算(Ⅲ)6・処遇改善加算(Ⅰ) 8.4%

※2 給付費は、サービス提供月の翌月々に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先(生産活動を行う場合に記入)

上段:受注先
下段:所在地
1月当たりの受注額
契約書の有無
回収・支払いの条件

※3 主な事業所内生産品(生産活動を行う場合に記入)

生産品 1時間単価 計算式 1月当たりの生産額

※4 諸経費:消耗品、光熱水費、車両管理費、研修費、宣伝広告費、租税公課、社会保険料、レンタル料等

様式第2号-1

受理 8月8日
関係者への意見聴取
市 建築指導課
消防局予防課
開発指導課
福山市障がい福祉サービス等の指定に係る懇話会
回答 9月13日

事業計画書

□当初 ■最終

作成年月日 2022年05月17日
法人名 株式会社絆・きずなinローズ
代表者職名前 代表取締役 佐藤 正弘
担当者名 連絡先

1 協議事項
事業種別 放課後等デイサービス
事業所名 つよみをのぼす「ぐんぐん」
開設(変更)予定日 2022年10月1日

協議の種類
計画の概要
■新規事業所の開設
□事業の追加
□共生型サービス
□共生型サービス以外
□多機能型サービス
□定員の変更
□就労継続支援A型
□共同生活住居の追加
□大幅な事業内容の変更
□事業所の移転
□建物の構造・設備の変更

2 事業実施に係る動機
別紙にて

3 提供サービス
①放課後等デイサービス
割合 100%
提供日 月火水木金土日
理念 別紙にて
目標 別紙にて
同種のサービス

4 施設の概要【平面図は裏面のとおり】
土地 所在地 福山市住吉町7番28号
建物 名称 門田貸店舗
用途 放課後等デイサービス
事業の概要 ① 新規 使用する階 1・2階 専有面積 74.58㎡
② 使用する階 1・2階 専有面積 ㎡
③ 使用する階 階 専有面積 ㎡
内容 申請種別 □新築 □増築 □用途変更 □移転 □その他
放課後等デイサービス事業所を2022年10月1日に開所

5 主要取引先
上段:取引先
下段:所在地
割合
掛取引
回収・支払の条件
主な修正点

6 従業員
職種 雇用形態 名前 年齢 月給 主な修正点
管理者兼児童指導員 ■常
児童発達管理責任者 ■常
児童指導員 ■常 □非
児童指導員 □常 ■非
指導員 □常 □非
月給計 80万円
人件費 末日 20日 支払 ボーナス 6月 1 2月

7 借入金状況
金融機関 理由 借入残高 年間返済額 意見
政策金融公庫 開所費用・運転資金 600万円 120万円

8 必要な資金と調達方法
必要な資金 金額 調達方法 金額 主な修正点
土地 万円 補助金 万円
建物 100万円 自己資金 100万円
設備 100万円 借入金 600万円
資金 車両 万円
その他 万円
運転資金 500万円
合計 700万円 合計 700万円

9 事業の見直し
1月目 2月目 3月目 1年後 主な修正点
利用者見込 A 6人 10人 12人 26人
月平均利用額 ※1 (1人当たり) 5.45万円 5.45万円 5.45万円 5.45万円
取 給付費 ※2 0万円 0万円 32.7万円 131.0万円
入 収入計 ① 0万円 0万円 32.7万円 131.0万円
支 人件費 80.0万円 80.0万円 80.0万円 80.0万円
出 旅費・交通費 1.0万円 1.0万円 1.0万円 1.0万円
賃借料 19.0万円 19.0万円 19.0万円 19.0万円
通信費 2.0万円 2.0万円 2.0万円 2.0万円
諸経費 ※4 17.8万円 17.8万円 17.8万円 17.8万円
支払元金利息 1.0万円 1.0万円 1.0万円 1.0万円
支出計② 120.8万円 120.8万円 120.8万円 129.8万円
取 ①-② -120.8万円 -120.8万円 -88.1万円 1.2万円
生産 収入 B 万円 万円 万円 万円
活動 売上高 ※3 万円 万円 万円 万円
支出 C 万円 万円 万円 万円
利用者賃金 万円 万円 万円 万円
必要経費 万円 万円 万円 万円
最真確保状況(A型) ((B-C)/25)/8/A 円 円 円 円

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠
基本報酬(サービス費)十全ての加算について記載すること
放課後等デイサービス ・基本報酬(区分1)月604 休日721 ・福祉専門職員配置等加算(Ⅲ)6 ・処遇改善加算(Ⅰ) 8.4%

※2 給付費は、サービス提供月の翌々に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先(生産活動を行う場合に記入)
上段:受注先
下段:所在地
1月当たりの受注額
契約書の有無
回収・支払いの条件

※3 主な事業所内生産品(生産活動を行う場合に記入)
生産品 1時間単価 計算式 1月当たりの生産額
円 × H × 日 × 人 = 万円
円 × H × 日 × 人 = 万円

※4 諸経費:消耗品, 光熱水費, 車両管理費, 研修費, 宣伝広告費, 租税公課, 社会保険料, レンタル料等

様式第2号-2
受付印
2022年9月28日
(受付印省略)

10 付近図

小学校区 <input type="text" value="南小学校"/> 人口 <input type="text" value="7,235"/> 人 事業所数 <input type="text" value="2"/> 事業所 利用定員 <input type="text" value="20"/> 人	主な修正点
2022年度(令和4年度)児童・生徒数 福山市立南小学校 312名 1年生:52人 2年生:58人 3年生:60人 4年生:47人 5年生:46人 6年生:49人 特別支援学級:19人	
付近図掲載せず	

11 平面図

※別紙にて	主な修正点 ・「個別対応」による学習支援と集団活動を同時並行する場合、面積的に狭すぎるといふ面は認めません。ただ、集団活動が少人数の場合は同時並行は可能です。 大人数の場合は、基本的に個別対応と同時進行致しませんが、どうしても個別対応と重なる場合は、2Fの相談・休養スペースを使用して対応します。 ・当事業所には、四方4面のうち、北西側の壁面には内倒しの換気窓(W80cm×T50cm)が200cmの高さに4つ、さらに奥の天井と玄関付近の天井には換気扇が1つずつ設置してあり空気清浄機も1台フロア中央に設置しています。 ・療育中は、常に喚起窓を開放、換気扇、空気清浄機を運転して常に新鮮な空気の保持に努めます。 ・パーティションは、採光や開放感を考慮し、全て半透明、或いは半透明性のより高く丈の低いものを設置しています。また、これらは必要に応じて移動し、閉鎖的空間とならないよう努めて参ります。 ・パーティションは、防音効果にも優れたものを設置しています。また、状況に応じ、各療育ブースの配置や距離を調節し、それぞれの利用者に常に落ち着いた静かな環境を提供して
-------	--

12 事業計画

事業所名 つよみをのぼす「ぐんぐん」 所在地 福山市住吉町7番28号 事業種別 放課後等デイサービス 利用定員 10名 開所予定日 2022年10月1日 営業日 月曜日から金曜日(祝日を含む) 会社の定める土/日(月1回) 休日 土/日 ゴールデンウィーク 夏季 年末年始 ※イベント以外については別紙にて 営業時間 イベントを行う土曜・日曜(月1回程度) 9:00~17:00 サービス提供時間 ※イベント以外については別紙にて イベントを行う土曜・日曜(月1回程度) 10:00~16:00 送迎 なし ※保護者駐車場…事業所横に3台分確保	主な修正点
---	-------

13 利用者処遇

※別紙にて 以下、「主な修正点」の続きです ・「地域枠」については、まずは地域の保護者や地域の役員(町内会、民生委員等)さんとの交流を重ねる中で、地域の子どもの実態把握に努め、こうした方々の協力でボランティアスタッフを募り、療育ブースの一部或いは所定の日を「地域枠」として開放し、職員は地域ボランティアと協力しながら共に取り組むという活動を試行して参ります。地域に向くイベントも同様に、地域の方々の参加、協力も仰ぎながら取り組んで参ります。 ・地域の方達と共に運営する「地域枠」の取り組みによって、「地域の子ども達が安心して勉強したりくつろぐための居場所」の一つをご提供できると考えています。 ・こうした場合、対象者が多様になりますが、イベント時や緊急時等の万が一の備えとして、賠償責任保険に加入しております。また、イベントの際にはその都度、更にイベント保険契約を結びます。また、「協力医」についても、今後、更に複数の近隣に位置する医療機関と契約を結び、万が一の救急に備えて参ります。	主な修正点 ・利用者が少人数での活動も希望された場合、利用者同士の組み合わせ、時間帯を勘案考慮し、複数の担当で対応する時間として設定し、交流を主たる課題として定期的に取り組みます。 ・学校連携は、電話連絡や学校訪問で保護者支援は必要に応じて家庭連絡や家庭訪問で、研修については、行政からの研修には必ずスタッフ1名以上参加、その他利用者の理解や療育能力向上のための講師等を招いた研修を年3回、定期的に行います。
--	--

14 防災計画

年に2回(4月:消防避難訓練 9月:防災(地震・水害・不審者)訓練を、職員スタッフと利用者で行う。 マニュアルの作成および避難経路の掲示を行う。 地域との連携の中で防災訓練を行える体制を整える。	主な修正点
---	-------

15 一日の流れ ※別紙

〇時〇分 ~ 〇時〇分 〇時〇分 ~ 〇時〇分 〇時〇分 ~ 〇時〇分 〇時〇分 ~ 〇時〇分 〇時〇分 ~ 〇時〇分 〇時〇分 ~ 〇時〇分 〇時〇分 ~ 〇時〇分	意見
---	----